

令和7年度 府中市立第九小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

第1学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	・ 促音や拗音を適切に書くことができない児童がいること。 ・ 読書量の差が大きいため、語彙量の個人差が大きいこと。	・ 単元の特性を考え、違いが分かるように発音させたり、声に出しながら視写をさせたりする。【発見・表現】 ・ 読書の時間を確実に設定し、ビブリオバトルをするなど語彙を増やす活動を設定する。【決定】		
算数	・ 数量や図形に親しみ、算数で学んだことを日常生活や学習に活用しようとする。 ・ 具体物を用いずに数量の計算ができること。	・ 自分が操作したことを相手に説明する機会を多く導入する。【表現】 ・ 具体物や図、表を多く取り入れなくても想起できるように反復する。【表現】 ・ 自分が苦手としている分野のeライブラリを単元の終盤の習熟の時間に行う。【発見・決定】		
生活	・ 感じたことを伝えること。 ・ 観察の際に、対象を捉えて絵で描くこと。	・ 感じたことを選べるように語彙の選択ができるようにする。【表現】 ・ 大きさ、色、数に着目し、基本の描き方を伝えたのちにより絵を価値付けながら示し、表現する方法を増やす。【表現】		
音楽	・ 曲に合わせて、正しい指使いで鍵盤ハーモニカを演奏すること。 ・ リズム打ちを正確に行うこと。	・ 楽器の基本的な奏法を覚えさせ、ICTを活用して、1小節ごとに確認しながらお互いに聴き合うなど、協働的な学習を取り入れる。【決定】 ・ リズム打ちを声に出して練習し、手と声の動きが一致できるようにさせる。【表現】		
図画工作	・ 人物画で特徴を捉えて描くこと。 ・ はさみなどの道具の使い方。	・ 段階を細分化し、人物の描き方を例示する。【発見】 ・ 友達の作品の良さを見つけたり、発表したりする場を設定する。【発見・表現】 ・ 道具の使い方についてICTを活用し、分かりやすく安全に作業ができるようにする。【発見】 ・ 友達の使い方の良さを見つけて発表させることにより、意欲の向上を図る。【発見・表現】		
体育	・ 友達のよさを見付けること。 ・ 自分の感じたことを表現すること。	・ 教師が積極的に授業内で児童のよい動きに着目し、伝える、価値付ける活動を全活動で導入する。【対話】 ・ 体育カードを活用して児童の感じたことを表現できるよう工夫する。【表現】 ・ 児童に感じたことを投げかける際に、言語の例を数個用意し、選択できるようにする。【表現】		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。